

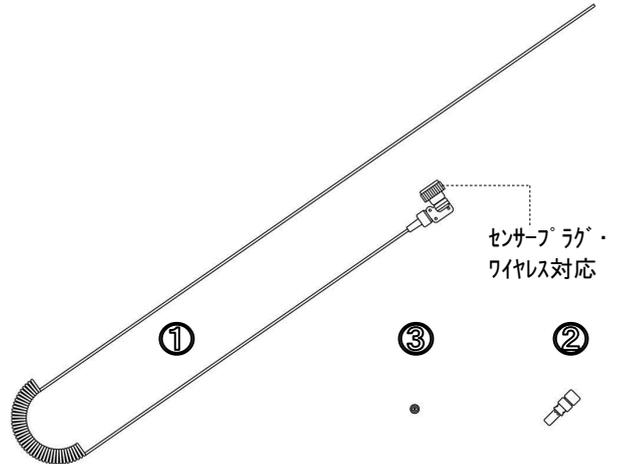
INON

イン L 型光 D スレーブ ケーブル III

イン製品のお買い上げ有難う御座います。

イン L 型光 D スレーブ ケーブル III は、マスターストロボとスレーブストロボとの信号伝達に光ファイバーを用いる事で、従来のワイヤスレーブストロボの様に環境光の影響を受けず、より確実な“光 D スレーブケーブル”接続を実現する接続オプションです。
また、ストロボとの接続に使用する“光 D ケーブル LL”を 2 本まで固定可能ですので、3 灯以上の多灯構成では、1 台のマスターストロボから 2 台のスレーブストロボへ、2 股状に『光 D スレーブケーブル接続』を行なう事も可能です。
対応するマスター/スレーブストロボの組合せに制限があります。詳細は対応マスターストロボ/対応スレーブストロボの項をご確認下さい。

- 製品内訳
- ・ L 型光 D ケーブル LL ① × 1
 - ・ スレーブ D 机ダ-ユニット 3 ② × 1
 - （
 - 光ガイドキャップ WL × 1
 - キャップ固定ダイヤル × 1
 - 光ファイバ固定ダイヤル × 1
 - 光ファイバ固定ゴム × 1
 - ・ 予備光ファイバ固定ゴム③ × 1
 - ・ 使用説明書(本書) × 1



- 対応マスターストロボ (2018 年 11 月現在)
- ・ イン S-2000

- 対応スレーブストロボ (*1) (2018 年 11 月現在)
- L 型光 D ケーブル LL をそのまま、取付け可能な機種(ワイヤレス “対応” ストロボ)**
- イン Z-330、D-200、S-2000、Z-240 【Type4】、D-2000 【Type4】

L 型光 D ケーブルのセンサープラグを、「センサープラグ・ワイヤレス非対応」(別売)へ交換する必要がある機種(ワイヤレス “非対応” ストロボ) (※)

- ・ イン Z-240 【Type3/Type2/Type1】、D-2000 【Type3/Type2/Type1】
D-2000W、D-2000Wn、D-2000S、D-180、D-180S、Z-220F、Z-220、Z-220S
- ・ イン TTL 調光センサー Z + イン Z-22
- ・ イン TTL 調光センサー SB + 対応する TTL オートストロボ
- ・ イン TTL 調光センサー YS + 対応する TTL オートストロボ
- ・ イン フォーカスライトコントローラー + イン Z-220F/Z-220S/Z-220/Z-22



「センサープラグ・ワイヤレス非対応」
【別売】

(※) 交換方法については、「センサープラグ・ワイヤレス非対応」付属の「ストロボ側 L 型コネクタ仕様変更手順書」をご参照の上、センサープラグの交換を行ってからご使用下さい。

(※) 交換方法については、別紙「ストロボ側 L 型コネクタ仕様変更手順書」をご参照の上、センサープラグの交換を行ってからご使用下さい。

マスターストロボとスレーブストロボが異なる機種の場合、各ストロボともマニュアル発光に設定した場合を除き、撮影意図と異なる発光量バランスとなる場合があります [例: 左右とも同じ発光量で『平坦に』ライティングしたい場合でも、左右の発光量が異なってしまう等]。

これは、各ストロボでフラッシュ動作の仕様 [最大発光量/発光時間/単位時間当りの発光強度等] が異なることや、各自動調光方式のスレーブ増灯時の動作に起因した現象で、各製品仕様上正しい動作となります。

発光量バランスを調節する為には、『各ストロボ側にて適切な発光量補正を行なう』、『適切な“拡散板”の取り付けを行なう』、あるいは『(本製品を使用せず) 2 灯ともカメラシステムに直接接続する』等が必要となる場合があります。各ストロボ同士の組み合わせにおける推奨接続/設定例につきましては、各ストロボ 付属の使用説明書をご確認下さい。

- 接続方法
- ・ **スレーブ D 机ダ-ユニット 3 を装着します**

“スレーブ D 机ダ-ユニット 3” の金属製ダイヤル “キャップ固定ダイヤル” を緩めた後、白い部品 “光ガイドキャップ WL” の『丸い面』が、対応するマスターストロボの “光 D スレーブケーブル III 接続部” の奥側となる様にはめて下さい。
その後、“光ガイドキャップ WL” が回転してしまわない様にしっかりと押えながら、“キャップ固定ダイヤル” を締め付けて固定します。



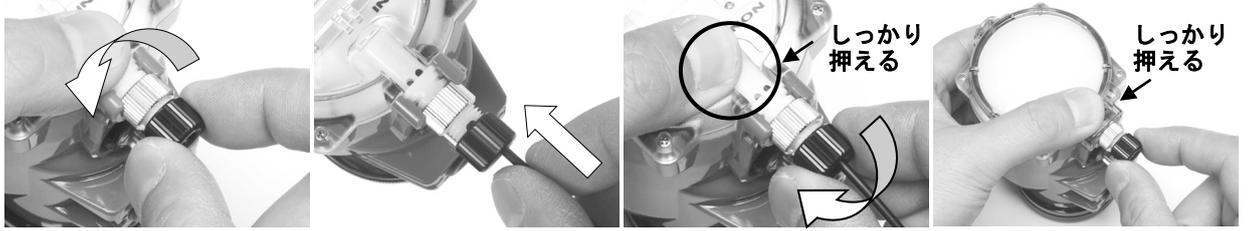
(接続方法のつづき)

・ **L型光DケーブルLL**を取り付けます

“スリーブDコネクタユニット3”の黒色ダイヤル“光ファイバ固定ダイヤル”を回して緩めてから、ゴム部品“光ファイバ固定ゴム”の穴に“L型光DケーブルLL”のケーブル断端を差し込み、奥まで達している事を確認後、“光がイトキャップWL”が回転してしまわない様にしっかりと押えながら“光Dケーブル固定ダイヤル”を押し込んで固定します。拡散板を使用している場合には、拡散板の上からしっかりと押え、“光がイトキャップWL”が回転してしまわない様にご注意下さい。

なお、“スリーブDコネクタユニット3”には、本製品に含まれる“L型光DケーブルLL”を1本のみ固定する事はもちろん、別売オプションの“光DケーブルLL”単体を加えた2本を同時に固定する事も可能です。

“L型光DケーブルLL”のケーブル側断端の取り付けが終了した後、コネクタ側をスリーブストロブの調光センサー部に取り付けます。



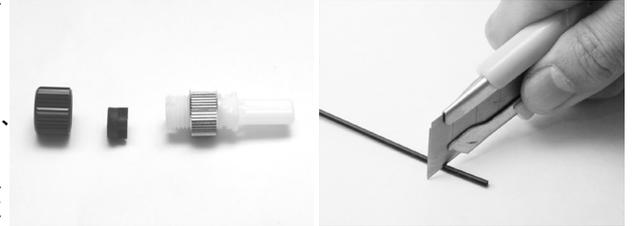
メンテナンスについて

- ・ ご使用後は、“L型光DケーブルLL”、“スリーブDコネクタユニット3”共に、ストロブ/拡散板から取り外し、真水中(30℃以下)に数時間静置して塩分等をよく取り除いた後、エアガン等で水滴を吹き飛ばし、直射日光の当たらない、風通しの良い場所に置き、乾燥させて下さい(完全乾燥には数日掛かります)。
- ・ 特に“L型光DケーブルLL”端の光ファイバ断面は、スリーブ“スリーブDコネクタユニット3”から外した状態で丁寧に洗いき、塩分を良く落して下さい。“L型光DケーブルLL”の断面に傷が付いたり、塩分が残留して曇ってしまったりと、信号がうまく伝わらなくなる場合があります。

- ・ 取り外した“スリーブDコネクタユニット3”は、構成部品を無くさない様注意して下さい。

- ・ 上述の理由等で信号が伝わり難くなった場合や、ケーブルを短くして使用するには、必要に応じて光ファイバを切る事が出来ます(L型コネクタ側の光ファイバを切断する場合は、弊社ホームページの『TOP > テクニカルガイド > L型光ケーブル分解組立』にて公開しております『L型コネクタ仕様変更手順書』をご参照下さい)。

- ・ 切断の際、“L型光DケーブルLL”の中心にある光ファイバの切断面に凹凸が出来ると、光信号が伝わり難しくなります。切断前の状態よりも断面の凹凸が酷くなった場合や、切断後に信号が伝わり難くなった場合は、切断作業をやり直して下さい。

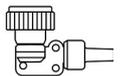


使用上の注意

- ・ “L型光DケーブルLL”は超耐久仕様(最小曲げ半径2mm)となっておりますが、それ以上曲げたり、強い刺激が加わったりすると、内部で折れる可能性があります。また、長時間曲げたままにすると形状が記憶されてしまい、正常に信号が伝わらなくなりましたら、オプションの「交換用光ファイバ-L型光DケーブルLL/L型光スリーブケーブル用」と交換して下さい。
- ・ “L型光DケーブルLL”をハンダやストロブに接続した状態で、ケーブルを持ってそれらを持ち運ぶなどすると、光ファイバがL型コネクタから外れたり、ストロブ/L型コネクタ/光ファイバ等が破損する恐れがあります。このような扱いは避けて下さい。

オプションについて

- ・ **L型光DケーブルLL** ¥7,000-(税抜)
製品内訳画像中の、①です。対応するストロブ2台と、スリーブDコネクタユニット3とを直接接続する際、追加が必要となります。
- ・ **交換用光ファイバ-L型光DケーブルLL用** ¥4,700-(税抜)
製品内訳画像中の、①からストロブ取付用のコネクタを除いた物です。
- ・ **スリーブDコネクタユニット3(予備部品付)** ¥2,000-(税抜)
製品内訳画像中の、②、及び③です。
- ・ **ストロブ側L型コネクタキット(ワイヤレス対応) [保守部品]** ¥2,500-(税抜)
本製品から光ファイバを除いた、コネクタユニットの交換キットです。
- ・ **センサーラック・ワイヤレス対応 [保守部品]** ¥600-(税抜)
本製品に標準装備されている、ワイヤレス対応、ストロブ用のセンサーラックです。
- ・ **センサーラック・ワイヤレス非対応 [保守部品]** ¥600-(税抜)
ワイヤレス非対応、ストロブ用のセンサーラックです。本製品を、ワイヤレス非対応、ストロブ(本書内「接続対応ストロブ」の項参照)に使用する場合に、本製品のセンサーラック・ワイヤレス対応と交換します。



有限会社 イノン

〒247-0061

神奈川県鎌倉市台2-18-9

Tel. 0467-48-2174

Fax. 0467-48-2178

E-mail support@inon.co.jp

URL

http://www.inon.co.jp/